

京畿道安城市、韓牛（韓国在来種の牛）農場口蹄疫の疑い事例を追加申告

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxOTY2MSUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHllM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cGFzc3dvcmlM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdjUzRDEwJTl2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（仮訳）

- 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は1月29日（火）、京畿道安城市所在の韓牛農家（飼育規模：97頭）で口蹄疫の疑い事例が追加で申告されたと述べた。
※最初の発生農場（安城市金光面の牛農場）と11.4kmの距離に位置

○この農家は1月29日、飼育されている韓牛3頭が流涎、跛行などの口蹄疫の臨床症状を示し、安城市役所に申告した。

○現在、京畿道動物衛生試験所が出動し、現場試料採取後の精密検査。中検査の結果は、本日判明する予定。

- 農林畜産食品部は、農家に初動防疫隊を投入して人・家畜などの移動を制御するなど、緊急防疫措置中。

○口蹄疫が確認された場合、口蹄疫緊急行動指針（SOP）に基づいて、必要な防疫措置をとり、1月28日（月）開催された家畜防疫審議会と農食品部長官主宰防疫対策会議に基づいて、現在推進中の緊急ワクチン接種など防疫措置を徹底的に推進していくと述べた。